



也 会報

山口中央公園



第69回定時総会



竹内重信先生黄綬褒章受章祝賀会



山口会新人研修会



土地家屋調査士ウェア 助成実施中



CONTENTS



No.123-2016

9

第69回定時総会の報告	総務部長	乗川	慎二	1
日本土地家屋調査士会連合会定時総会報告	広報担当副会長	清水	浩二	2
中国ブロック協議会定例総会の報告	広報部長	周原	稔	3
本部研修会報告	業務部理事	原田	英樹	5
支部総会報告	岩国支部	沖廣	哲裕	6
	周南支部広報協力委員	西田	泰則	7
	防府支部	越智	隆次	8
	山口支部支部長	和田	祐二	9
	萩支部支部長	岡村	匠	10
	宇部支部副支部長	豊川	奎植	11
	下関支部副支部長	八田	廣	12
竹内重信先生黄綬褒章受章を祝して	相談役	三好	一敏	13
支部だより	防府支部企画委員	林	俊男	15
	萩支部支部長	岡村	匠	17
	下関支部理事	百合野	崇	18
	下関支部企画委員	山田	篤志	20
山口会新人研修会				21
杭の日「無料相談会」報告	周南支部理事	藤本	栄子	24
	防府支部	山根	良吾	25
	山口支部副支部長	益田	正規	26
	宇部支部理事	久保真	珠美	27
	下関支部企画委員	半野	義隆	27
山口法律関連士業ネットワーク定期大会報告	広報部理事	永瀬	勝博	28
全国一斉不動産表示登記無料相談会報告	広報部長	周原	稔	29
乗川良介先生を偲んで	顧問	瀬口	潤二	30
事務所紹介	萩支部	竹内	重信	32
	宇部支部	萬代	徳次	34
山口県青年土地家屋調査士会の活動				
山口県青年土地家屋調査士会定時総会報告		大來	博康	36
山口県青年土地家屋調査士会研修会報告		梶山	実	37
親睦クラブの活動				
まつり同好会活動		阿部	隆昌	39
会員の作るページ				
私の気づいた「ゆがみ」	岩国支部	洪瀬	清治	40
萩市の相島	萩支部	廣石	勝	42
事務局だより				
広報部からのお知らせ				

定時総会の報告

第69回定時総会の報告

総務部長 乗川慎二

第69回山口県土地家屋調査士会の定時総会が山口地方法務局局长をはじめ多くの来賓の方々にご臨席を賜り、下記のとおり開催された。

1. 日時 平成28年5月27日（金）
午後1時30分～午後5時15分
2. 場所 山口市湯田温泉三丁目5番8号
「湯田温泉ユウベホテル松政」
3. 出席者 173名（会員総数223名）
本人出席 78名
委任状出席 95名
4. 議案 第1号議案
（1）平成27年度一般会計収支
決算報告承認の件
（2）平成27年度特別会計収支
決算報告承認の件
上記の監査報告
第2号議案
平成28年度事業計画（案）
審議の件
第3号議案

- （1）平成28年度一般会計収支
予算（案）審議の件
- （2）平成28年度特別会計収支
予算（案）審議の件

5. 議事

議長に周南支部の林弘会員、副議長に山口支部の和田祐二会員が就任し、議事の進行を行った。

全ての議案は執行部の提案通りに承認可決された。

このたびは例年と違い総会を午後から開催し、総会終了後、本会顧問弁護士である中山修身弁護士による講演会「所有者が不在・不明の処理困難不動産について」を開催した。その後、来賓の方々をお招きしての式典を開催し、午後5時40分からは約7年ぶりに来賓および会員を対象とした懇親会を開催し、多くの方々の出席をいただき、懇親を深めた。

以上、第69回定時総会の報告とさせていただきます。



山口地方法務局局长表彰を受ける沖田会員



杉山会長による挨拶

日本土地家屋調査士会連合会定時総会報告

副会長 清水浩二

第73回日本土地家屋調査士会連合会定時総会が東京都文京区の『東京ドームホテル』にて下記のとおり開催され、山口会からは、杉山会長、戸倉副会長（連合会業務部長兼務）、井上副会長、清水副会長、周原広報部長、大田センター長の6名で参加しました。

1. 日時 平成28年6月21日（火）
セレモニー（表彰式等）及び議事
平成28年6月22日（水）
議事
2. 場所 東京ドームホテル
3. 議事 第1号議案
（イ）平成27年度一般会計収入
支出決算報告承認の件
（ロ）平成27年度特別会計収入
支出決算報告承認の件
第2号議案 日本土地家屋調査士
会連合会会則の一部
改正（案）審議の件
第3号議案 日本土地家屋調査士
会連合会役員選任規
則の一部改正（案）
審議の件
第4号議案 平成28年度事業計画
（案）審議の件
第5号議案
（イ）平成28年度一般会計収入
支出予算（案）審議の件
（ロ）平成28年度特別会計収入
支出予算（案）審議の件

以上の議案の全てが、賛成多数により承認可決され、当会の杉山会長からは、3つの質問状が提出され質問の提出理由が延べられました。

また戸倉副会長は、連合会業務部長として様々な質問がされましたが、全ての質問に対して的確な回答をされておられました。

セレモニーでは、20名の会員の方々が法務大臣表彰を受賞されました。受賞された諸先輩方おめでとうございます。

4. 報告者の感想

連合会総会には、今回で3度目の参加となりましたが、今回の総会でも多くの代議員の方々から多くの質問が出され、土地家屋調査士制度をより良いものに変えていきたい熱意のあるものが多く、そのような考えを持つ会員が全国には多数おられることを実感する事ができました。

連合会の林会長の挨拶で、宮崎県のマンゴーが未だに高価で取引されている事を引き合いにされ、土地家屋調査士として、自らが低廉化に加担しない努力、費用の叩き合いをせずに断る勇気も必要と話された事が印象的でした。

昨年に続き空家対策の話題や、所有者の不明な土地についての質問もあり、最前線の情報を得る事もでき良い経験となり、この情報を山口会に持ち帰り、少しでも多くの会員の方々に伝える事ができればと思っています。

今後、土地家屋調査士業界が益々発展する事を期待し、本報告に変えさせていただきます。



連合会常任理事として報告をする戸倉副会長

中国ブロック協議会定例総会の報告

広報部長 周原 稔

第59回日本土地家屋調査士会連合会中国ブロック協議会の定例総会が、鳥取市において鳥取会の引き受けにより下記のとおり開催されました。

山口会から役員として杉山浩志会長（中国ブロック協議会副会長）、井上哲也副会長（同監事）、西本聡士名誉会長（同相談役）、戸倉茂雄副会長（同参与）、代議員として乗川慎二総務部長、大來博康財務部長、白石龍二業務部長、周原稔広報部長、大田浩治センター長、オブザーバーは清水浩二副会長に加えて表彰を受けられる青木正治会員が出席しました。

1. 日時 平成28年7月1日（金）
『議事及びセレモニー（表彰式等）』
平成28年7月2日（土）
『親睦会』

2. 会場 「ホテルニューオータニ鳥取」

3. 議事

第1号議案 平成27年度事業・会務報告

第2号議案 平成27年度収支決算報告書
承認の件及び監査報告

山口会会費

（556,800円 @2,400×232名）

尚、業務監査について島根会・寺本誠一副会長（中プロ監事）より事業計画と対比し、適正な業務執行が行われていることが報告された後以上2案は賛成多数にて承認可決された。

第3号議案 平成28年度事業計画（案）
審議の件

山口会関連としては、中プロ新人研修会を11/11～11/13に岩国市・『清流の郷』にて開催することが決定しています。（20名程度を予定）

第4号議案 平成28年度収支予算（案）
審議の件

山口会会費

（540,000円 @2,400×225名）

以上2案は賛成多数にて承認可決された。

第5号議案 日本土地家屋調査士会連合会中国ブロック協議会会則の一部改正の件

（要望事項） 第8条 総会の代議員

会員100名まで2名

100名毎に1名追加するという

提案等々活発な意見が出され、今後執行部にて必要に応じて検討される。

第5号議案については、会則第21条により出席構成員の2/3以上同意を要する旨の説明が議長為され、採決により承認可決された。

第6号議案 次期開催地決定の件

『山口会』にて賛成多数にて決定され杉山会長より山口市周辺で行ない、2日目は「担当者会同」を予定する旨を説明された。

以上、滞りなく議事が終了したことをご報告いたします。

4. セレモニー（表彰式等）

議事終了後、広島法務局民事行政部長・千葉和信様、日調連副会長・海野敦郎様をはじめ多くのご来賓の方々のご臨席を賜り盛大にセレモニーが行われました。

尚、山口会からの受賞者は次のとおりです。

【広島法務局長表彰受賞者】

青木正治（山口支部） 規程第2条第2号
新谷賢治（周南支部） 同

【中国ブロック協議会会長表彰受賞者】

長井龍夫（岩国支部） 規程第3条第3号
伊藤正典（萩支部） 同
和田祐二（山口支部） 同
宮崎幸三（下関支部） 同

表彰式終了後に林千年日調連会長から祝辞（日調連副会長・海野敦郎代読）の中で、土地家屋調査士の自立・発展に向けたキーワー

ドとして①少子・高齢化②人口の都市集中化③空家問題等を挙げられ、「境界紛争ゼロ宣言」を根付かせる為引き続き発信していく決意を述べられた。

2日目の行事は、鳥取会一任となっており、鳥取の名所を視察後、全日程を終了し盛会のうちに午後散会した。

終わりに、鳥取会の関係各位のご尽力に感謝致します。

（追記）

日本土地家屋調査士会連合会・中国ブロック協議会と株式会社 東京法経学院、学校法人近畿測量専門学校との3社連携協定書の調印式が定例総会前に行なわれた。

各单位会会長の推薦書を添え、中国ブロック協議会を通じて申込すれば講座の減免等の特典が受けられるため、希望する補助者・進学希望者が居られる先生方には是非ご利用下さい。



広島法務局長表彰を受ける青木会員



懇親会の様子

本部研修会報告

平成28年度第1回本部研修会(連続研修)の報告

業務部理事 原田英樹

私たちの主たる業務の内、最も重要なもののひとつは、土地所有者の権利の対象となる土地の境目である『筆界』を調査することです。筆界の専門家として、『筆界』についての認識の違いがあっては、いけないと思います。

今年度の連続研修会では、それぞれの筆界論を議論し山口会として一つの筆界論を導きだそうと考えています。(開催趣旨より)

平成28年7月23日(土)、カリエンテ山口において第1回本部研修会が開催されました。

瀬口潤二顧問を講師に、『筆界を特定する資料についての考察』～地積測量図の正しい読み方～の研修をしました。

岩国支部12人、周南支部7人、防府支部9人、山口支部14人、萩支部4人、宇部支部14人(内補助者1人)、下関支部18人、合計78人の参加者。毎回多数の参加者に感謝しかありません。

今回の研修では、登記制度の沿革や地図の歴史を学びました。

地図の沿革は、山崎耕右参与の講師で学ぶ機会は多々ありました。

しかし、地積測量図の沿革については、学習する機会は、なかったように思えます。

まず、表示登記は、昭和35年法律第14号による不動産登記法の一部改正によって不動産の表示に関する登記制度が新設され、権利の登記とは独立して、不動産の物理的状況を明確にする制度の話から始まりました。

昭和52年準則改正については、田中角栄内閣の日本列島改造論の話から始まり(これにはビックリ!)、測定誤差の改正など普段わ

かっているようで、わからなかったことが学習できました。

土地台帳時代の申告書は、面積だけの測定? 現在の測量図は、筆界点を測量し面積を求積している?

『筆界』という活字として表記されたのは昭和52年細則・準則が改正され、細則第42条ノ4第2項及び準則第98条第2項に『筆界』と表記されたのが初めてではないでしょうか。

その後、『筆界』を明確に定義されたのは平成17年4月13日法律第29号で不登法一部が改正され、その第123条に「1筆の土地とこれに隣接する他の土地との間において、当該1筆の土地が登記された時にその境を構成する2以上の点及びこれらを結ぶ直線」と規定されてからではないでしょうか。

不動産登記法や細則・準則の歴史を学ぶことによって、その当時の土地家屋調査士の業務が見えてきます。

過去を知ること、現在の業務に活かされることも多いのではないのでしょうか。

私も『筆界』という言葉も業務では、当たり前のように使用しています。

そして『筆界』は、動かないと学んできました。

『筆界』の専門家として、これからも学習・研鑽していきたいと思います。

本年度は、『筆界』の連続研修を下記のとおり予定しています。

第2回 平成28年10月15日

第3回 平成29年1月予定

『筆界』についての第一人者、中央大学法科大学院客員教授・弁護士の寶金敏明先生に全て解説して頂きます。



平成28年度支部 総会報告

岩国支部定時総会報告

岩国支部 沖廣哲裕

平成28年度の岩国支部総会は平成28年4月22日に岩国市福社会館で、会員総数37名中、出席者16名、委任状出席11名で開催された。

数年前までは岩国支部の会員数は50人を超えていましたが、入会者が無く退会者ばかり、今回は岩国市内で開催されたせいもあり、柳井地区の会員が少なく寂しい総会に終わりました。

私が入会した当時の支部総会は司法書士、土地家屋調査士合同総会で100人余りの総数で格調高く場所を柳井、岩国と交代しながら華やかなホテル開催をしていましたが、その後、土地家屋調査士単独の総会になり、今の形で総会が開かれるようになりました。

総会の議案でもある懇親会一部自己負担については単位総会の少数行事ゆえ討議される

事と思います。

電子化の進んでいる今、我々の身近に情報があふれ、人と向き合って話しをしなくても仕事も生活もできる世の中になっています。

総会はそうした中で、唯一の司法書士との顔を合わせる場であった事を考えれば大事なパートナーを失った様にも思います。

他の支部では未だこの合同総会の形を残している所もあるそうで、どちらが良いのか判りませんが、岩国支部総会の形を考えるべき時かと思います。

総会後の研修

総会后、議題の無い研修があり、嘱託業務に対応する協議がされましたが、日頃の業務内容で特筆することはありません。



周南支部定時総会報告

周南支部広報協力委員 西田泰則

平成28年5月10日午後4時50分から、周南市サンルート徳山において、周南支部定時総会が開催された。

山口地方法務局周南支局からは、原澤源一支局長はじめ武吉勲統括登記官、金沢稔英表示登記専門官のご臨席を賜り、また県調査士会からは杉山浩志会長が駆け付けられた他、同政治連盟三好一敏氏を含む前出各氏より誠に温かい祝辞を頂戴した。これに先立って、

永年功労者の表彰があったが、本年は新谷賢治、曾根章文の両会員が受けられた。

一同拍手により来賓の退場を送ると、総会は議長を選出してほどなく議事に入った。各議題とも粛々と進行採決され、議場は終始静穏を保って何事もなく終了。

夕刻、例によって司調合同の親睦会に移ったが、いつもどおり来賓出席者を交えて和気藹々だった模様である。



防府支部定時総会報告

防府支部 越智隆次

防府支部では、4月28日（木）18：00より防府市天神の「割烹なか谷」において、来賓として山口県土地家屋調査士会より井上哲也副会長をお迎えして平成28年度防府支部定時総会を開催致しました。

支部会員総数15名のうち、出席者12名、委任状提出者3名でした。本年度は新入会員が2名増えており、今後、防府支部の活動において活躍されることを期待しております。

さて、総会の詳細についてですが、来賓の井上副会長より杉山会長からの祝辞を代読し

ていただいたあと、新入会員2名からの挨拶、平成27年度の事業報告並びに収支決算承認、平成28年度事業計画案並びに収支予算案、役員推薦委員・予備役員推薦委員選出と滞りなく総会は進められました。

総会終了後の懇親会では、なかなか交流の機会が少ない会員間で親睦を深めることができ、大変有意義な時間となりました。

今年度は新入会員2名が加わったこともあり、支部の活動についても今まで以上に盛り上げていきたいと考えております。



井上哲也副会長による挨拶



総会の様子



新入会員挨拶（篠田智昭会員）



新入会員挨拶（山根良吾会員）

山口支部定時総会報告

山口支部長 和田祐二

平成28年5月11日（水）13時30分より、土地家屋調査士会館3階会議室にて山口支部定時総会を開催した。

総会は開会の挨拶に続き、来賓である杉山会長から熊本のような震災が山口に発生した場合には土地や建物に関するリーガルプロフェッションとして支援できる人材であることも含め、研修会でさらなるスキルアップを行い、土地家屋調査士が社会に不可欠な存在で有り続けるように努めていくといった内容の挨拶があった。

続いて議長を選任し、1号議案「平成27年度事業報告並びに収支決算監査報告及び承諾の件」の報告をし、全員が承認。2号議案「平成28年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の承認の件」を提案し、全員の承認を得た。

3号議案「山口県土地家屋調査士会役員推薦委員及び予備推薦委員選任の件」について執行部案を提案し、承認を得た。以上の議事を支部総員33名の内、出席者21名、委任状出席者4名、合計25名の票決によって決めた。

以上の様に山口支部の平成28年度定時総会は、平穏無事に閉会を迎えた。

続いて連絡事項に入り、街区基準点管理委員から使用した基準点の報告が出ていないと報告があり、これを切っ掛けに補助点の使用について議論があった。補助点は対回測量していないので、与点を出してはいけない等の意見もあった。又、単に街区基準点を記載するのではなく、機械点・後視点の表示も必要ではなどの意見もあり、活発な議論が出来た。



萩支部定時総会報告

萩支部長 岡村 匠

平成28年5月13日（金）午後5時より、「萩本陣」において支部会員12名のうち11名が出席して支部総会を開催した。

始めに、昨年お亡くなりになられた岩本正一会員、三好敏夫会員に出席者全員で黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りした。

支部長挨拶に引き続き、来賓にお迎えした杉山会長より祝辞をいただいた。

表彰式に続いて、下記議案を審議し、原案どおり承認可決された。

第1号議案 平成27年度事業報告、収支決算報告承認の件

第2号議案 平成28年度事業計画（案）、収支予算（案）承認の件

第3号議案 役員推薦委員及び予備役員推薦委員の改選

この度、竹内重信先生が栄えある黄綬褒章を受章され、記念して全員で記念写真を撮影した。

総会終了後、司法書士会萩支部との合同懇親会を開催し盛会のうちに終了した。



宇部支部定時総会報告

宇部支部副支部長 豊川奎植

日 時 平成28年5月13日（金）
午後5時00分 開会
場 所 宇部市相生町8番1号
ANAクラウンプラザホテル宇部
（4階 竹の間）
出席者 36名（本人28名、委任状8名）会員
総数38名
入会者 西村暢夫 会員、木下修治 会員
表 彰 藤本精二 会員（連合会会長表彰）
萬代徳次 会員（山口会会長表彰）

議 案

- 第1号議案 平成27年度事業報告並びに収支決算報告承認の件
（監査報告）
- 第2号議案 平成28年度事業計画案並びに収支予算案審議の件
- 第3号議案 宇部支部規則の一部改正案承認の件

藤井支部長より、「新入会員を迎え、喜ばしく思う。業界が発展するよう、また、魅力ある会の手助けとなるよう、役員として努力したい」と挨拶がありました。

ご来賓、増山和男 山口地方法務局宇部支

局長より、「筆界特定制度は発足後10年を経過し、今後も皆様と連携を強固にしたい。また、県内のオンライン申請は、全国の中でも高い利用率であり、会員が利用された賜物である。より一層の利用をお願いしたい」と祝辞の中で、報告がありました。

戸倉副会長より、「災害時には会員全員が支援しなければならない。各市町と災害時の協定を締結したい。また、実務に即した研修会を開催し、関係機関に向けて、調査士の利活用をアピールして行きたい」と祝辞の代読がありました。

第3号議案について、藤井支部長より、帳簿、文書の保存期間を定めた旨の説明があり、提案のとおり、改正規則が承認可決されました。

また、本部役員の推薦委員に、西野誠二会員、予備推薦委員に、藤本精二会員が選任されました。

その他について、次年度の支部長、役員の候補を、この1年間に決めて行きたいので、先輩方に協力していただきたいとのお願いがありました。

各議案を承認し、本年度、第69回定時総会を終えました。



下関支部定時総会報告

下関支部副支部長 八田 廣

平成28年5月14日（土）午後3時より、下関市赤間町の東京第一ホテル下関にて本年の下関支部定時総会が開催されました。百合野崇支部理事の司会のもと、清水浩二支部長の挨拶に始まり、杉山会長よりご挨拶をいただいた後、山崎本部理事が議長に選任されて議事に入りました。

議事の内容については以下のとおりです。

- 第1号議案 平成27年度事業報告・収支決算報告承認の件
- 第2号議案 平成28年度事業計画案・収支予算案承認の件
- 第3号議案 役員選任委員任期満了による改選の件
- 第4号議案 役員推薦委員選任の件

第2号議案の「平成28年度事業計画案・収支予算案承認の件」では、本年度第1回の支部研修会として「調査士として知っておきたい接遇マナー」と題しての研修を予定している旨の説明がありました。我々調査士は人と接することの多い職種であることから、日頃の実務家としての所作を、もう一度見直す良い機会になるのではと感じました。

第3号・4号議案では、役員選任委員任期満了による改選及び役員推薦委員選任の議事が行われ、役員選任委員は大田浩治会員が選

任され、打越充浩会員・宮崎幸三会員が再任されました。また役員推薦委員は宮崎幸三会員、予備役員推薦委員は打越充浩会員がそれぞれ選任されました。

午後5時から、本会の杉山会長をはじめ、岡村邦子山口地方法務局下関支局長、中尾友昭下関市長、渡邊一正山口県司法書士会副会長、下関唐戸公証人役場の山下裕一郎公証人、他関係団体の下関支部長様ら来賓をお迎えして、山口県司法書士会下関支部との合同支部総会が開かれました。

来賓祝辞では、岡村支局長より、一昨年度から多くの支部会員も携わってきた下関市丸山地区の地図作成作業が無事終了したことの報告がなされました。また、会員表彰では清水靖士会員と堀家徹会員が支部永年功労表彰を受けられましたが、その中で清水靖士会員が実子である清水浩二支部長から授与を受けるという、親子調査士の多い下関支部ならではの微笑ましい場面もありました。

午後6時から開かれた司調合同の懇親会では、司法書士会下関支部の日比野支部長が総会の謝辞を述べられ、懇親会が始まりました。1時間半あまりにわたって和やかな歓談、盛会のうちに終了しました。

簡単ではありますが、以上で平成28年の支部定時総会の報告とします。



挨拶をされる中尾下関市長



挨拶をされる岡村支局長

竹内重信先生 黄綬褒章受章を祝して

－ 褒章受章祝賀会発起人代表として －

相談役 三好一 敏

竹内重信先生、黄綬褒章の受章を心からお祝い申し上げます。

今から28年前、昭和63年4月春の褒章受賞を私の父三好敏夫（故人、元山口会会長、元連合会常任理事）が山口県土地家屋調査士会員として初めて黄綬褒章を受賞した。長年本会や連合会の役員としてその功績に対して認められたことを、当時本人は大変喜んでいたり、我々家族の者たちも非常に誇りに思っていたものである。

平成4年11月に新本清人（故人）元会長が勲5等瑞宝章を受章されておられる。

平成10年4月黄綬褒章受章者としては山口会2人目、乗川良介（故人）元会長がおられたが、先日亡くなられ非常に残念でならない。なお乗川先生は本年6月10日旭日小綬章（死亡叙勲）も受章されておられる。

そして、山口会にとっては18年ぶり3人目の黄綬褒章受章者が竹内重信元副会長、県公共嘱託登記土地家屋調査士協会元理事長である。

私と竹内先生とは本会への登録が近かったことと、小世帯の萩支部の活動を通じて行動を共にすることも多く、何かと面倒見の良い親分肌にしみを感じることも多かった。そ

して何よりも私の父の褒章受章祝賀会を、当時本会副会長であった竹内先生が全面的に取り仕切って盛会裡に終わったことで、今でもその時の恩義を忘れることはできず、いつかお返しできる日が来ることを待っていた。

その受章祝賀会は7月17日日曜日、3連休の中日にホテル萩本陣（萩市）で行った。奇しくも私の父親が28年前の同じ日、同じホテルの同じ会場で行っている。

祝賀会の発起人は土地家屋調査士会杉山浩志会長、公嘱協会渡辺英雅理事長、政治連盟会長として私三好一敏、事務局長として古江直樹理事、そのほか萩市陸上競技協会会長や付き合いが広い竹内先生の友人代表に名前を連ねていただき、ホテルとの打ち合わせを含めて何度かの実行委員会を開いて開催にこぎつけたのである。支部会員10名余りの萩支部にあって28年間で受章者2人は大変名誉なことであり、祝賀会を盛会裡に行うために会場準備や受付に萩支部会員全員で、さらに本会や公嘱協会事務局からも参加をしてもらった。司会進行は萩ケーブルネットワークの矢次キャスターという若い可愛いお嬢さんをお願いし、来賓には日本土地家屋調査士連合会林千年会長、全公連倉富雄志会長、衆議院議員河村建夫令夫人隆子さん、野村興児萩市長、



杉山会長から祝辞を受けられる竹内先生



ご家族とともに謝意を述べられる竹内先生

新谷和彦山口県議会議員、田中文夫山口県議会議員、商工会議所刀根勇会頭や友人として萩焼作家三輪休雪さん、その他竹内先生の幅広い交友関係の中で特に懇意にしておられる方が出席されたこと、参加者は総勢160名余りとなり、大変賑やかで華やかな宴となった。式典、祝奏、祝宴はスムーズに進行し、アトラクションで田中文夫県会議員のトランペット演奏、タカセ企画によるドジョウ掬い、バナナのたたき売り、竹内先生のご友人でプロ歌手頼田悠梨さんによる友情出演等大変多彩な演目で、会場を沸かし時間の経つのも忘れるほどであった。

翌日、大変素晴らしい祝賀会であったとお

褒めの言葉を私にわざわざ電話してきた参加者がおられた。又他の参加者から、浦井義明相談役の篠笛演奏がとても良かったと感想を述べていたと聞かされた。いよいよ人間国宝の領域に立てたようだと言われ、浦井奏者に伝えるべきか悩ましいところである。

黄綬褒章は（出典：各種用語辞典）

「多年にわたり仕事に励んできた、人々の模範たるべき人に対して授与される栄典」

「業務に精励し衆民の模範である者」

「第一線で業務に精励している者で、他の模範となるような技術や事績を有する者を対象とする」



浦小路義麻呂氏（浦井相談役）による祝奏



竹内先生と記念に

竹内重信先生より会に萩焼をご寄贈いただきました

黄綬褒章を受けられた竹内重信先生より、受章記念として、萩焼を会に寄贈頂きました。波多野英生氏作の大変立派なお品で、8月23日、竹内先生自ら会へお届け下さいました。

多くの皆様にご覧いただきたく、会館のロビーに展示する予定です。

竹内先生に改めてお礼を申し上げますとともに、会員の皆様へご報告いたします。

また同日、フォトブックを竹内先生に贈呈いたしました。これは役員有志による先生への記念品で、祝賀会の様子を収めたものです。会にも1冊ございますので、盛大な祝賀会の様子をぜひご覧ください。



支部だより

平成28年度 防府支部第1回研修会報告

防府支部企画委員 林 俊男

日時：平成28年8月5日（金）午後2時30分
～午後6時まで

場所：ニューロンドン2F会議室

内容：第1部「第93条不動産調査報告書（改定版）Ver1.2版」の解説

講師 篠田智昭（防府支部会員）

第2部「空家対策特別措置法の概要」
の解説

講師 越智隆次（防府支部会員）

第3部「既存住宅インスペクションガイ
ドライン」の解説

講師 前田祐史（防府支部副支部長）

第4部「権利者・義務者の不在・不存
在」の解説

講師 上田和義（弁護士）

資料：「8／5研修会テキスト」1冊（78ペ
ージ）

参加者：15人（補助者4名含む）

連日の猛暑が続くなかでも、調査士業界を取り巻く環境には一刻の猶予も許されないとの認識により、防府支部は第1回研修会において標記の内容で研修会を行う旨、支部の会員に呼びかけたところ、11名もの支部会員の参加を得て盛会裏に終えることが出来ました。

そこで、支部会員が作成準備した「8／5研修会テキスト」をもとに、各研修テーマについて、補足説明を下記のとおりいたします。

■ 第1部「第93条不動産調査報告書（改定版）Ver1.2版」の解説

篠田智昭講師により、「Ver1.2版」を

インストールしたノートパソコン（PC）のモニター画面をプロジェクタを使用して、「土地分筆登記」「建物表題登記」の2事例により、調査報告書ファイルへの入力・書き込み手順を篠田講師の使用にあたっての気付きを聞きながら確認をした。

■ 第2部「空家対策特別措置法の概要」の解説

越智講師により、我が国における空家問題の現状と「空家対策特別措置法」の概要、および、防府市における「空家対策」の現状等が限られた時間の中で講話を聞くことができた。調査士としては「特別措置法」の言うところの「特定空家等」に関する権利者との調整

・抵当権等が設定されていた場合でも、命令等を行うに当たっては、関係権利者と必ずしも調整を行う必要はないとの指針の運用方に今後注目したい。

■ 第3部「既存住宅インスペクションガイドライン」の解説

前田副支部長により、「宅地建物取引業法の一部を改正する法律案」の成立に伴い、既存建物取引時の情報提供の充実が図られることとなり、新たに一定の講習を受けた建築士他が「インスペクター」と認定され、買主の意向により、インスペクターによるインスペクション結果（既存住宅現況調査）を買主に対して説明することにより、既存住宅の質に対す

る不安を払拭し、売主・買主が安心して取引ができる環境を整備することにより、中古住宅・リフォーム市場の活性化が図られることとなったとの講話を受けた。

■ 第4部「権利者・義務者の不在・不存在」の解説

弁護士上田和義講師により、【民法上の権利者・義務者】の不在あるいは不存在の場合を「空家問題」等の事例をもとに考察を受けたものです。

【考察事例】として、「相続人の不存在」「相続人の不在」「扶養義務者の不存在」

「所有者の不存在」「賃借人の不在」「自動車名義人の不存在」「権利者の不在・不存在」「義務者の不在・不存在」「被告の不在」「従業員の不在」「会社代表者の不存在」について質疑を挟みながら講話を受けた。

第1回の支部研修会により、調査士を取り巻く関連業界の動きを知見することとなり、また、「8／5研修会テキスト」は執務にあたり、おおいに活用させていただきます。はやくも副支部長は、次回研修テーマの企画立案のため県外にまでGoしているようです。以上、ご報告まで



平成28年度第1回萩支部研修会の報告

萩支部長 岡村 匠

平成28年9月3日（土）午後4時より、「サンライフ萩」において会員11名、補助者3名の計14名が出席して支部研修会を開催しました。

研修内容は、白石龍二業務部長を講師としてお招きし、「不動産登記規則第93条不動産調査報告書」（改訂版）記載要領について講義をしていただきました。

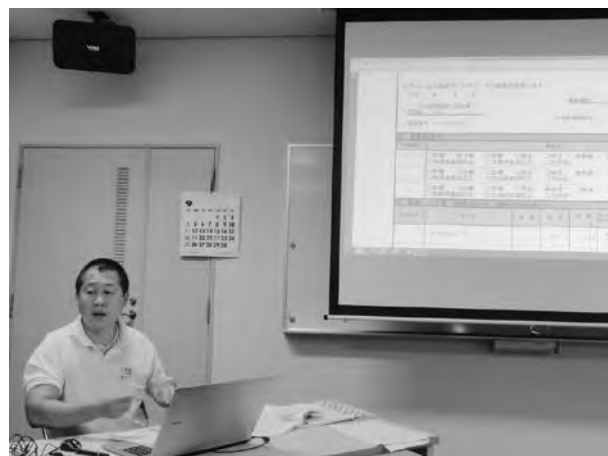
自分が考えていた以上に出席者が多く、調査報告書に対する関心が高いのだと感じました。研修内容に選んで良かったと思いました。

白石業務部長は、スクリーンに調査報告書

を映し出し、各項目ごとに記載の仕方を丁寧に説明され、大変わかりやすく参考になりました。

今回の研修会で、操作機能が簡単なソフトが販売されていることも知りました。現在、使っているものがもう少し使いやすくなればいいと感じました。

白石業務部長には遠路はるばる萩市までお越しいただき、懇親会まで参加していただき大変ありがとうございました。この場を借りてお礼を申し上げます。



平成28年度 第1回支部研修報告書

下関支部理事 百合野 崇

日 時 平成28年7月12日（火）午後6時00分～午後8時00分
場 所 山口県下関市幸町8-15 下関市勤労福祉会館 2階第1会議室
内 容 調査士として知っておきたい「接遇マナー」
講 師 アイスリー代表小森真白 様



第1回支部研修としてアイスリーの小森真白先生をお招きし、接遇マナーについての講習会を開催して頂きました。私は土地家屋調査士としての仕事に携わって以来、挨拶、名刺交換、電話の応対などについてあまり学ぶ機会がありませんでした。このような形でマナーについてあらた

めて学ぶ機会には他の先生方も多くなかったのではないかと思います。

依頼者、関係各庁、隣接者など多くの方々に接する事が多い職業です。接した相手は、私たちの表情、視線、態度、動作、言葉などから自分がどのように扱われているかを判断します。相手に好印象をもってもらうことで、仕事がスムーズに進み、土地家屋調査士個人及び事務所の信頼が高まるというのは実際の経験からも実感できます。

研修の中では接遇マナーのポイントとして「表情」「挨拶」「身だしなみ」「態度」「言葉づかい」の5つを掲げていただきそれぞれについて詳しく説明をしていただきました。

第一印象というのは後々の相手との関係を築いていく折にとっても重要な要素であると思います。その第一印象をよくするためにこの研修で学んだ5つのポイントを念頭におきつつ、人とコミュニケーションをとるようにしていきたいです。

研修が進むにつれて自分に足りないものが発見できたのでこ





れからの実務において早速実践していこうと思いました。

マナーとは、周りの人々を不愉快にさせない態度や気配り、心配りのことで誰でもすぐに実践できることのように思いがちです。しかし、やはり自分である程度意識しておかないと現実には実践するのは難しいと思います。常に相手のことを考え、相手に応じた気配りを忘れず接することが大切だと感じました。これから今日学んだことを実践

していく上で、うまくいかないこともあるでしょうが、今回の研修の成果を出すことができるように日々心掛けたいと思っています。

最後に小森真白先生は終始暖かい表情で大変わかりやすい講義をしていただき、とても充実した研修を受ける事が出来ました。ありがとうございました。



山口地方法務局下関支局と山口県土地家屋調査士会下関支部との協議会の報告

下関支部企画委員 山田篤志

夏の暑い中、表示登記をスムーズに遂行するため、お互いの意見・要望を聞く協議会を行いました。

【日時】平成28年7月22日（金）午後5時30分から

【場所】下関地方合同庁舎 2階 相談室

【出席者】

山口地方法務局下関支局

岡崎総務登記官、濱本表示登記専門官（司会）、東登記官、木坂登記官

山口県土地家屋調査士会下関支部

清水支部長、八田・山崎副支部長、宮崎・福田・諏訪・星本・百合野理事、山田・中村・半野企画委員

清水支部長挨拶から始まり、扇風機のまわる室内ではありましたが、濱本表示登記専門官による手慣れた司会により、スムーズかつ終始和やかな雰囲気で見聞交換しました。

まずは、下関支部からの要望として、支局内で一般的に閲覧されている図面等のほかに、閲覧可能な資料をリストアップして公開していただけないかとお願いしました。例えば、土地区画整理図や震災復興図等です。当該資料の保管リストがあれば、会員の筆界調査をより深める手助け、あるいは保管資料があることを知らない会員への周知を図ること

で、調査不足を防ぐことに繋がると考えられます。現在、支局ではこのような資料のリストは作成していないそうですが、本局にて前向きに検討していただけることとなりました。一般の方に知れると問題のある資料等もあるでしょうが、電子化の進む昨今、このようなリストがあれば大変便利です。安心して

次に下関支局からの意見として、平成27年8月に行われた下関支局と山口県土地家屋調査士会下関支部との協議事項の徹底をお願いされました。93条調査報告書の記載内容について、登記相談の事前予約及び登記相談票の提出です。以前より改善されてはいるようですが、依然として事前予約無し・相談票無しでの相談も多く、業務処理の遅延につながっているようで、また中には六法を読みなさいと言いたくなるような相談もあるそうです。毎年要望されていますので、そろそろ個別に周知徹底のお願いが必要かもしれません。

他にも多岐にわたり意見交換が行われ、お互い実りのある協議は終わりました。このような協議を開催するにあたりご尽力くださいました関係者皆様へ感謝するとともに、扇風機の熱風に耐えたこともあります。その後の懇親会でのビールが格別だったことは言うまでもありません。

山口会新人研修会

平成28年4月15日（金）、16日（土）の2日間にわたり、山口県土地家屋調査士会新人研修会を実施しました。

これまでと少し趣向を変え、より一層実務に即した研修とするため、具体的な事例を用い、どのように実務を進めるか、討議する形式で研修会を行いました。参加してくださった皆様からの感想をご紹介します。

受講報告

下関支部 **中藤敏志**

4月15日から2日間の日程で山口会新人研修会に参加しました。

今回の研修は私も含め開業後ある程度実務をこなした方が多く、実際の業務のやり方などで活発な意見交換が出来、充実した内容でした。

講師・研修生が車座になってお互いの意見を言い合う形の研修は初めてでしたが、活発な意見交換が出来たと思います。

この研修会で学んだことを今後の業務に役立てていきたいと思っています。

お忙しい中、このたびの研修会を運営していただいた講師の先生方、山口県土地家屋調査士会の方々に厚く御礼申し上げます。

下関支部 **長崎有喜**

先生方におかれましてはご多忙の中、新人研修を開いて頂きありがとうございます。実務においても分からないところが多く戸惑

うばかりですが、当日は遠慮なく質疑するようにとのことで、気楽に講義に参加することが出来ました。機会があればまた参加させていただきたいと思います。ありがとうございます。

防府支部 **篠田智昭**

4月15日・16日の2日間、調査士会館での新人研修に、参加させて頂きました。前年も参加させて頂きましたが、講義内容に興味があり、また研修自体新しい試みで実施することでありましたので参加いたしました。

講義は討論方式で講師の講義に加え、新人の方からも意見、疑問等活発に発言され、熱気ある、実務に直結する研修だったと思います。早速、実務での参考にさせて頂きました。

また、懇親会においては、会長はじめ、先生方、新人の方、事務局の方等と楽しく交流を深めることができ、大変有意義な2日間でした。

調査士として開業して1年たちましたがこれから興味ある研修には積極的に参加して



いきたいと思います。

最後に今回の新人研修の企画、運営をはじめご講義頂いた諸先生方、役員の方、事務局の方すべての皆様に感謝の念を申し上げます。

ありがとうございました。

宇部支部 西村暢夫

4月15、16日の2日間の新人研修に参加させて頂きました。

今まで補助者として少なからず業務に携わってききましたが、今回の研修で日常の業務での素朴な疑問点など質問でき、業務について他の先生方と話し合い、親睦会においても意見交換でき有意義な2日間でした。

今後も研修が開催される場合は、ぜひ参加し業務に研ぎをかけていきたいと思います。

お忙しい中今回の企画に携わって頂いた方々に厚く御礼申し上げます。

宇部支部 木下修治

4月15日、16日、の2日間、山口会新人研修会に参加しました。

ペーパーテストのみで調査士試験合格、登録した者として研修会の主内容が業務の受諾から納品の流れを具体的に先輩調査士から体験談を交えての説明は、大変勉強になりました。

特に感謝するのは実務で使用された場面ごとの提出書類、図面等の成果品を研修の教材として提供されて教授して頂いたことです。新人としては現場をイメージでき大変参考になりました。

これからも研修会等を積極的に利用し知

識、技能の研鑽に励み少しずつ地域に貢献できる土地家屋調査士になります。

最後に懇親会お疲れ様です。ありがとうございました。

岩国支部 石崎智之

この度は、「山口会新人研修会」に参加させて頂き有難うございました。

他県での実務経験がある中、今回の新人研修会に参加しましたが講義された先生方の実務に関する経験や意見等を聞いて、今日までの自分自身の業務に対する手法や考え方を再確認する機会になりました。

また、土地においては各地域で独特な習慣がありますが、特に山口県は特殊な地域であると改めて実感しております。

最後にお忙しい中、今回の新人研修会に携わった皆様、誠に有難うございました。

下関支部 阿部隆昌

この度、4月15日から2日間の日程で新人研修会に参加させていただきました。

各講義とも、開業して間もない私にとっては質問の連続となりましたが、実務に沿った丁寧な回答を講師の先生方からいただき、今後の調査士業務を行う上で大変参考になるものとなりました。

またこのような研修が開催される際には是非参加し、調査士として研鑽を重ねたいと思います。

最後に、年度始まりというお忙しい中、この新人研修会を企画運営していただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

「杭の日」 無料相談会の報告

「杭の日」 無料相談会開催場所・件数

日時	場所	件数
9月1日（木） 10：00～15：00	山口地方法務局周南支局 3階会議室 周南市周陽2丁目8-33	7
9月3日（土） 9：00～15：00	サンライフ防府 防府市八王子二丁目8番9号 (ゆめタウン防府前)	6
9月1日（木） 9：00～15：00	山口県土地家屋調査士会館 玄関ロビー 山口市惣太夫町2番2号	1
9月3日（土） 10：00～15：00	フジグラン宇部 ヒマラヤスポーツ店前広場 宇部市明神町三丁目1番1号	3
9月1日（木） 9：00～15：00	下関市役所 本庁舎新館 1階ロビー 下関市南部町1番1号	2
合計		19

周南会場

周南支部理事 藤本栄子

日 時 平成28年9月1日 木曜日
午前10時～午後3時
場 所 山口地方法務局周南支局
3階会議室
相 談 者 7件（午前5件 午後2件）
相 談 員 4名
相談内容

開催日は残暑といえ過ごしやすい晴天で、7組と多数の参加があり盛況な相談会になりました。

相談案件すべて土地に関するもので、杭の日らしく境界標に関する相談から開始となりました。



今回も周南市の広報に広告を掲載し、下松市・光市の広報にも開催情報を掲載していただきました。平生町の広報にも掲載されたことで遠路電車に乗って来場された高齢の方のご相談もありました。

整理された資料を持参される方も多く、みなさん解決の糸口を探って来場されます。少しでもお役に立てれば開催の意義もあったかと思えます。

当支部としては今後も継続して開催する予定で、次回は4月1日表示登記の日です。

防府会場

防府支部 山根良吾

日 時 平成28年9月3日（土）
午前9時～午後3時
会 場 サンライフ防府2階
相 談 員 午前5名、午後5名
相談件数 6件

杭の日の無料相談会、防府支部では例年9月の最初の土曜日に行われており、聞けば休日の方が相談に来やすいのではないかと、という相談者の方への配慮あつての設定だそうです。私は今年から調査士となったばかりの新人ですので、当然のように相談員として強制徴集されました。いえ、もちろん立候補するつもりだったのですが、前田副支部長にお気遣いをいただいてスムーズに参加できることが決まって感謝しております。

9月3日の当日は台風12号による影響で曇りでしたが何とか雨も降らず、開場の30分前には相談員全員が揃って会場の設営を済ませているという士気の高さがとても印象的でした。実は前日に前田副支部長から「早めに集合するように！遅刻は厳禁！」と徹底したご指示があったからなのですが（笑）。

実際、開場の9時より前に最初の相談者がいらっしゃり、早めに準備が済んでいたことでスムーズにご案内できたことは何よりでした。

私も新人ながら先輩調査士の方と一緒に2人目の相談者を迎え、お話を聞くことになりました。具体的な内容は省略しますが、以前に行われた境界確認の相手方になられた方で、その際に確定された境界について色々と疑問があつて悩んでいるといったことでした。この相談に限って言えば業務にあたった土地家屋調査士が隣接者の方の疑問にもきちんと向き合つて答えていれば起きなかったことだと感じ、私も日常業務の中でちゃんと隣接者の方のご納得を得て印をもらっているだ

ろうか、と我が身を振り返る大変良い機会になりました。ご相談に来られた方には出来るかぎりのアドバイスをして、満足されて帰られたように思います。

その後も相談者が続けてこられ、「9月1日の「杭の日」を覚えていて土曜日にやってくれるから相談に来やすく助かります」、なんて言葉をかけてくださる方もいらっしゃって嬉しく思いました。先輩方がこの日の活動を長年続けてこられているからこそ、ですね。

相談者は午前中に合計6名の方がいらっしゃり、皆さんそれぞれの悩みをお持ちでしたが、相談員のアドバイスに概ね満足されて帰られたように思います。

午後からは天気も悪くなり相談者の方はいらっしゃいませんでした。

相談員を務めたのは初めての経験でしたが、お困りの方に少しでも助けが出来たと思うとやっぱり嬉しいです、調査士として人の役に立ちたいという思いがまた一段と強くなりました。その上で我が身を振り返るという意味でもとても貴重な経験になったと思います。

これからも積極的に参加させていただき、また杭の日の周知に努めたいと思います。



「杭の日」 無料相談会 山口会場

山口支部副支部長 益田正規

日 時：平成28年9月1日（木）

午前9時～午後5時

会 場：土地家屋調査士会館1階ロビー

相談員：2名

相談者：1名

山口支部は、ここ数年同じ会員が相談員を務めてきましたが、より多くの会員に相談員としての経験を得てもらうため、今年は私益田と山根会員が相談会に参加しました。

相談者を迎えるべく万全の態勢を整え待機しておりましたが、午前中は来訪者がなく、午後2時過ぎに初めて相談者が来訪されました。結局、相談者はこの1名に終わりましたが、相談内容は濃く、胸の内に秘めた思いも

あったせいか5時過ぎまで相談に応じました。相談者は様々なアドバイスを受け、満足して帰られたように見受けられました。

相談内容は、地図と現地の比較方法、土地の形状を勝手に変更すること、境界付近に構造物を設置する時の注意点など、多岐にわたるものでした。これらの相談の根底として、相談者が地域から疎外された状況に置かれていることも問題であるように感じました。

最後に、相談が少ないということについて、問題を抱えておられる方が少ないのか、相談会の告知が足りないのか、相談会の開催時期・回数等、様々な観点から検証する必要性もあるのではと思いました。



「杭の日」 無料相談会報告

宇部支部理事 久保真珠美

日 時 平成28年9月3日（土）
午前10時～午後3時
場 所 フジグラン宇部
（ヒマラヤスポーツ前）
相談員 午前 3名 午後 3名
相談者 3名

宇部支部では、「杭の日」の無料相談会を9月3日の土曜日に行いました。去年は、日曜日に行ったので、今年は曜日を変え土曜日に行いました。相談者は、午前中は1名で、午後からは2名でした。台風の影響か、店舗内の人がいつもより少ないように感じました。

相談者の相談内容としては、共有土地の分

割・相続に関することや固定資産の課税についてなど土地家屋調査士の業務に直接関係した相談はありませんでした。

相談に来られた方は、通りすがりの方が多く、土地家屋調査士の幟を見て、気軽に相談できそうなので、立ち寄られた方もおられました。相談者には、参考資料として土地家屋調査士のパンフレット一式を差し上げました。



「杭の日」 無料相談会の報告

下関支部企画委員 半野義隆

日 時 平成28年9月1日（木）
午前9時から午後3時まで
場 所 下関市役所 本庁舎新館1階ロビー
相談員 午前2名 午後2名
相談者 午前2名 午後0名

毎年恒例の「杭の日」無料相談会を下関市役所本庁舎新館1階ロビーにて行いました。この度は権利関係の相談にも対応できるように司法書士の明石先生にご協力いただきました。

相談内容は売買に伴う売主側の境界確認（明示）の範囲及び費用に関する相談が1件、相続（贈与）に伴う事前の境界確認の必要性に関する相談が1件、計2件でした。相談者は所用で来庁した際にポスターや看板が目に入ったので、ついでに相談という感じで相談目的の来庁ではないなど若干のPR不足を感じました。

相談者の中に以前、隣接地所有者として立会をした方もおられ具体的な対応もでき、個人的には納得していただけたのではと思っています。（相談者から言われるまで気が付かなかったことは残念ですが・・・）。

また、無料相談会を定期的に継続していくことによって、多くの方に土地家屋調査士の業務内容を知っていただくと同時に少しでも表示に関する登記や境界に関する悩みを解決できる一助となれればと考えます。

簡単ではありますが、以上をもって報告に代えさせていただきます。



山口法律関連士業ネットワーク定期大会の報告

広報部理事 永瀬勝博

平成28年度山口法律関連士業ネットワーク定期大会が中国税理士会の当番会の引き受けにより、周南市で下記のとおり開催されました。

山口会から杉山浩志会長、井上哲也副会長、戸倉茂雄副会長、清水浩二副会長、乗川慎二総務部長、周原稔広報部長、永瀬勝博広報部員の7人が出席しました。

1. 日時 平成28年7月15日（金）
15時30分から『定期大会』
16時20分から『講演会』
演題 士業の必要経費について
講師 広島修道大学 法学部
教授 奥谷 建 氏
18時10分から『懇親会』

2. 会場 「ホテルサンルート徳山」

①定期大会

- 第1号議案 平成27年度事業・会務報告
- 第2号議案 平成27年度収支決算報告書承認の件及び監査報告
- 第3号議案 平成28年度事業計画（案）
- 第4号議案 平成28年度収支予算（案）

山口関連士業ネットワーク理事長 松田明氏により報告された。

②講習会

奥谷講師により、士業の必要経費の算入



の可否について、裁判事例を基に説明された。

1. 強制会（士業）の2次会の支払い代金は必要経費になるかどうか？
2. ライオンズクラブや青年会議所等の任意会の飲み代等は士業個人として必要に算入できるのかどうか？

【懇親会】

各資格業がそれぞれ指定されたテーブルに配置され、バイキング形式で行われた。

山口法律関連ネットワーク大会は、資格業の他業種が交流の場を持つ場所です。今年度、当番会の中国税理士会の次は、山口県土地家屋調査士会が当番会となります。

各資格業との関連により、1つの仕事を成し遂げることも多くあります。調査士会内部のつながりも大切ですが、他士業の皆さま方とのつながりも大切にしなければいけないと感じました。

『第7回 全国一斉不動産表示登記無料相談会』の報告

広報部長 周原 稔

開催日時 平成28年7月31日（日）
午前10時 ～ 午後5時
会 場 山口県土地家屋調査士会館
相談件数 1件
相談内容 ① 権利関係について

上記相談会も早いもので今年で7回目となりました。7月31日の「土地家屋調査士の日」に全国の土地家屋調査士会にて行われていますが、第4回から全国一斉の行事になったと記憶しています。

山口会においては、相談員として広報部より清水広報担当副会長、永瀬部員と私が担当し、山口地方法務局より古谷 訓登記部門表示登記専門官の派遣をいただきました。

例年通り、受け入れ態勢バッチリに臨みま

したが今年に限っては表示関係の相談は皆無で拍子抜けし、今後に向けての反省ばかりが浮き彫りされました。

相談者がいないという事は、困っておられる方がいないとも考えられますが広報活動の不備により周知徹底が出来ていないことに起因している事かも知れません。

来年以降においても『全国一斉不動産表示登記無料相談会』は継続しますので、再度、相談者数の掘起こしの為の広報活動の見直しを広報部にて協議していきます。

又、休日にも関わらず協力して下さった古谷 訓登記部門表示登記専門官はじめ山口地方法務局の皆様に感謝を致します。



山口県土地家屋調査士会

第7代会長乗川良介先生を偲ぶ

顧問 瀬口潤二



平成28年6月10日、山口県土地家屋調査士会第7代会長乗川良介先生が、逝去されました。まだ、79才という元気な先生の突然の訃報に、なんとも残念でたまりません。これまでの先生の公私にわたるご指導・ご厚情に心から感謝し、この紙面に先生を偲び、記憶に留めたいと思います。

先生を偲んだ時、真っ先に思い出すことは、JR山口駅構内に土地家屋調査士会会館建設を提案されたことです。旧会館の持分売却から始まり、JR構内の定期借地契約、会館の設計コンペの実施、建築費用の検討と建築業者選定、融資の申し入れ、会債の発行、臨時総会では、投票による賛否の確認等、様々な課題を、先頭に立って活動されましたね。会館建設には、大きな予算を伴うことから、当然のことながら会員の負担が降りかかります。今活動する会員が、将来の会員のために負担をするのか、今の会員の負担を軽減し、将来の会員が多く負担する形態をとるのか様々な意見がありましたが、先生の出された結論は、新しく成立した「借地借家法」(平成3年10月4日法律90号)を活用したJRとの定期借地契約(50年)でした。JRとの条件面での交渉は、何度となく条件変更もあり、最後の最後は、会員に臨時総会の案内を出した後の条件変更もありましたね。

臨時総会の数日前の健康診断で、胃に腫瘍が見つかったと先生から電話をいただきました。「手術が必要」とのことと、病室での「臨時総会対応会議」を開きましたね。副会長の高田吉雄先生と小嶋慎一郎先生と私の4名で、担当の看護師さんから時々注意を受けながらも2時間近く話をしました。

先生は、手術を延期し、臨時総会に出席するという判断をされ、当日は平静を装い、会員からの質問に答えておられました。これが、先生の会館建設に対する熱意と覚悟を知るエピソードの一端です。



次に、先生と同席した登記部門との協議会での思い出を一つ記します。

協議会は、平成7年10月頃に開催されたと思いますが、山口県土木建築部用地課長からの照会に対する回答の報告がありました。先生は、昭和61年に設立した山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会の初代理事長でもあり、この照会に対する登記部門からの回答が、将来に向けての表示登記の混乱につながりかねないとの意見を述べられ、この協議会での意見の3点を後日、山口県にも伝えるよう強く要望されました。

①立会証明書の取り扱い、調査士会に求めている水準にすること②地積測量図の作成者に測量業者を認めていると誤解されないようにすること、③山林番区域の所在確認証明書の取り

扱いも公共嘱託ということで便宜的取り扱いが横行しないようにすること、以上の3点ですが、平成7年11月30日付で首席登記官名で、嘱託登記関係官公署宛に上記3点について協議会の意見を踏まえた留意事項を発信されたという経緯を学ばせていただきました。

このことは、調査士会が登記部門と協議する目的が、表示の登記の制度を改善・発展することに資する協議であることを深く思いに至る出来事です。(このような平成7年当時テーマにしていた山口会での動きは、平成17年の不動産登記法の改正を経て不動産登記規則として全国に定着してきていることを痛感します。)

先生の見識や指導力と行動力は真似ができるものではありませんが、先生の遺志を継ぎ、少しでも先生の期待に応えることを誓って、記述を終えたいと思います。

【先生のプロフィール】

山口県土地家屋調査士会入会 昭和38年9月10日

役員歴（山口県土地家屋調査士会）

昭和46年から2年 常任理事（企画部長）
昭和58年から2年 常任理事（公共事業部長）
昭和60年から8年 副会長
平成5年から8年 会長

役員歴（日本土地家屋調査士会連合会）

平成9年から6年 理事（総務部員・広報部次長）

表彰

昭和54年 山口県土地家屋調査士会会長表彰（図根点設置）
同年 山口地方法務局長感謝状（図根点設置）
昭和58年 日本土地家屋調査士会連合会中国ブロック協議会会長表彰
昭和59年 山口地方法務局長表彰
昭和63年 日本土地家屋調査士会連合会会長表彰
平成6年 広島法務局長表彰
平成8年 法務大臣表彰
平成10年 黄綬褒章受章
平成10年 秋の園遊会に参列

故乗川良介先生が旭日小綬章を受章されました

6月10日に逝去された乗川良介先生が、旭日小綬章を受章されました。

8月2日、山口地方法務局の小山健治局長より、ご遺族である乗川慎二常任理事に授与されました。

土地家屋調査士制度の発展に尽力された乗川先生のご功績を称えとともに、会のために生涯献身下さったことに対しまして、改めて深くお礼を申し上げます。



事務所紹介

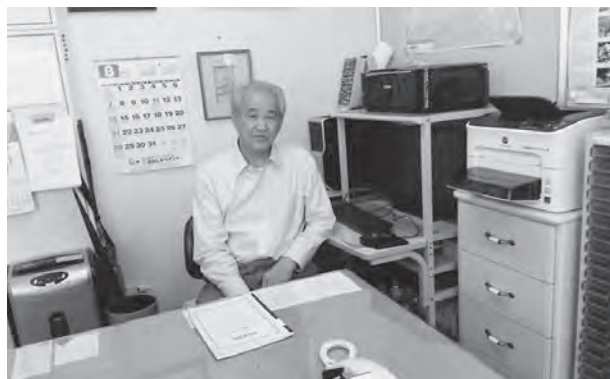


萩支部

竹内重信 事務所

萩市大字江向526番地 4

たけうちしげのぶ
会員氏名 竹内重信



(土地家屋調査士業との出会い)

自分は1971年の流行語だった脱サラ組である 前職は地元金融機関・萩信用金庫（現在の萩山口信用金庫）に勤務していた 慢気に溺れ他職に目が眩み家族を残して単身で当てなく上京した不逞の輩である。

元々は大自然に触れる仕事に興味を持っていた 無鉄砲ながらも離職後は早く就職せねばと焦りがあった 上京二日目 不動産専門

学校の看板に気が惹かれ門を潜った 学校の教科は凡そ8コースあったが自分は不動産鑑定士と税理士の夜間コースを選択して入校した 無論手持ち資金に余裕がなく 昼間は杉並区荻窪の下宿先近くの司法書士事務所でバイトを始めた 勤めて間もなく事務所に出入りする土地家屋調査士先生の仕事に惹かれ 自分事とも重ね合わせ 同校の土地家屋調査士速成科コースを受講 幸運にも同年受験で合格証を手にしたものである 全く測量業務には経験もなく 合格証はペーパードライバー然り なれど これが自分の天職だと決断して合格証を下げて帰郷翌年山口県土地家屋調査士会に入会した 1972年1月1日 この日が自分の開業記念日である

(技術専門家には程遠くであったが…)

現在76才 業歴44年を振り返り 天職とした土地家屋調査士業を全うしたかと問われれば返事に悩むところである 元来 土地家屋調査士は技術専門職たるべきと説いたが 自分は測量するよりも大地に穴を掘る杭埋設の方が好きだった 測量の基礎学習が無かった所為だろう 調査士紛い者と言える類である そのくせ事務所に採用した補助者には 土地家屋調査士・測量士(補)・宅地建物取引主任者(現在の宅地建物取引士)の国家資格を取得しろと辛くあたる

皆 頑張り屋であった 今日まで自分の事業所からは 土地家屋調査士6名 宅地建物取引士5名 測量士1名 測量士補2名の合格者が出た 都度々々に合格証を拝見した時は歓喜し 良き補助者に恵まれ事を誇りに思う昨今である

(浦井義明先生のこと)

会員なら誰も知る浦井先生の篠笛について 自分事も入って恐縮だが去る7月の黄綬褒章受

章祝賀会に 浦井先生に酒宴前の祝奏として篠笛を吹奏して戴いた 先生は酒宴の余興に出番と思われて居られたが 祝奏ではどうしてどうして見事な音色で奏曲され満場を唸らせた 特筆すべきは客人の中にいた神社宮司と音楽家から笛の音色に賛辞 篠笛は手製だと説明を加えたら二重の驚きをされた事である 因みにこの時に吹奏使用された篠笛は私が家宝として頂戴した 浦井先生の重要無形文化財保持者（人間国宝）認定される日を待ち望んでいる



（これからの事）

近頃は体力に自信を失い 土地家屋調査士業務は2年前から疎遠している だが業歴の中で関わり合った顧客から相談事があれば 現地にも赴き 取り扱った資料を書庫から出して照合もする 又 微力ながらもこれまで培ってきた知恵袋で後輩達の相談に乗る この繰り返しもう少しは調査士会に在籍させて頂くと思う 調査士の資格を持つ長男が東京都世田谷区に在籍する気配がない 現在の事務所は併業する宅建業が主体となったが 自分が天職とした土地家屋調査士業に誇りを抱き 育んでくれた全ての方に感謝感謝で終焉したい



（結びに）

懐古して一番悔しい思いは 共に時代を過ごし既に先人となられた先生（特筆すべきは歴代会長 三好先生・新本先生・乗川先生）に対して ご生前に感謝の行動が足りなかった事で残念でなりません 「何事も今を一番大切にすること」後期高齢者となった今の自分の「座右の銘」です

広報部新企画の「事務所紹介」の意に添えないような寄稿となりましたが 今回指名を受け自分の思いを記させて頂きました 有難うございました

宇部支部

萬代徳次 事務所

美祢市伊佐町伊佐4156番地



会員氏名 ばんだいとくじ
萬代徳次



境界復元にチェーンソーと草刈機がいるの？

Q. 家族構成について

妻・息子2人・嫁1人・母(91歳)・孫1人(これが可愛い)・猫2匹(これも可愛い)

現在は妻・息子・母・猫2匹で暮らしております。

Q. 事務所所在地

山口県中央部の美祢市伊佐町伊佐に位置しています。

自宅の前に事務所を構えております。周りは田んぼばかりであります。

調査士としてよく生き残ってられるなと感心しています。

Q. 調査士になったきっかけ

ここは少し話しが長いです。

昭和46年、地元の高校を卒業し、地元大

手セメント工場へ就職しました。

機械保全の技能職として腕も上達し始めたころから工場の機械の傷みも多くなり、夜中の2時に修理のため呼出をかけられ補修を行う、24時間現場に張り付くなどの業務が続いた時、フッと、我に返った自分がいました。

給料は充分いただいておりますが、このままでは早死にするなど。

独立自営の道はないのかと。一念発起で調査士の道に入ったのです。

昭和63年に天から調査士資格を与えられましたが、すぐさま独立とは行かず、会社の同僚には申し訳なかったのですが、独立したい気持ちをもちながら、会社員を続けておりました。

平成2年の時にアメリカにアルミホイールの工場の立ち上げから運転指導の業務を命ぜられ、オハイオ州に1年1ヶ月滞在しました。この時から考え方が一変しました。

日本と言う単位で世界が見られる様になったのです。目からうろこでした。

会社には大変お世話になりましたが、平成6年に早期希望退職の募集があった時円満退社をさせて戴きました。ありがとうございました。

退職の翌日、無謀にも(補助者暦無し)調査士登録を行い、現在に至っております。

Q. 調査士業務の中で一番印象に残っている事

調査士業務を右も左も分からないまま始めましたので苦労ばかりでしたが、同業者、登記官、司法書士先生等人間関係に恵まれていました。

業務で一番印象に残っているのは、開業して3年目の時だったと思います。

業務もあまり無く、退職金も底をつき始め、奥様と独立は失敗したかなと話していた時地元の大嶺線（JR）が廃止され、売却の為、境界確定の話が公嘱協会よりありました。

全長2100Mのうち、700Mの区間を戴き筆界確定を行いました。

苦労は多かったですが、補助者である女房と無事成果を上げる事が出来ました。報酬も考えていたより沢山いただき、調査士ってなんていい職業なんだと喜んだものです。

Q. 趣味、特技、休日の過ごし方

ソフトボールのピッチャーを30歳の時からやっています。

現在、シニアチーム（59歳以上）とヤングチームと関係していますがシニアは年齢の関係もあり人員不足であります。初心者大歓迎です。

健康で長生きされたい方、萬代までご一報下さい。

Q. 我が家の一台

一昨年の事でありますが、敬愛する山口のF調査士が、ハーレーダビッドソンにまたがって、我が家を訪問してくださいました。イージーライダー（何と古い）は、爆音と共に去っていききました、私の心に我が家にも一台を残したまま。

免許の無い私は大型バイクは宝の持ち腐れですので、考えました。

異常気象、天変地異、ゲリラ豪雨が日常化している地震大国日本の家庭に必要な我が家の一台は、ユンボであります。これなら奥様も説得できます。

皆様方にも我が家の一台としておすすめします。

余談ですが、ユンボ購入後、早速F氏に電話報告を行ったところ、〔アア、友達が持ってるよ。役に立つよね。〕で片付けられました。



我が家の一台

Q. 最後に

読売新聞の編集手帳に載っていたそのまま引用しますが、

<その道に苦労する人が玄人、その道を知ろうとする人を素人という>

なかなか味のある駄洒落であります。

もう一分張り、調査士業で苦労してみますか。これからも宜しくお願いします。

山口青調会の活動

第7回山口青調会定時総会の報告

山口青調会 大來博康

日 時：平成28年5月26日(木)午後6時開会
場 所：山口県土地家屋調査士会館 3階
会議室

出席者：23名（正会員総数 31名）

議 事：第1号議案 平成27年度事業報告・
収支決算報告承認の件
第2号議案 平成28年度事業計画
案・収支予算案承認の
件
第3号議案 任期満了による役員改
選の件

上記のとおり第7回山口青調会定時総会が開催されました。

本会定時総会の前日にもかかわらず、多数の会員の皆さんにご出席いただきました。

山口青調会では、会員同士の親睦を深め、各自のスキルアップにつながるよう活動を行っています。

先の熊本地震においては、東日本大震災の教訓から初動支援の大切さを学び、いかに早く被災地へそのニーズにあった支援が出来るかに重点を置き、お隣福岡青調会様と連携して支援活動を行いました。これには多くの山口青調会の皆さんにご協力頂き、また福岡青調会様のご尽力があり、被災翌日、そして地震発生後1週間のうちに2度の物資の搬送が行われました。この支援活動には全国各地の青調会からご協力があり、このネットワークや連携こそ青調会活動の最たるものと感じました。

昨年は、ブロック初の試みとして「中国ブロック青調会大会」を下関市で開催しました。

山口から中国ブロックへと活動の場が広がれば、それに応じて視野も広がり吸収するものも増えていき、やがて各自のスキルアップにつながるものと思います。

今年度は、第3号議案で3回目となる役員改選がありました。退任役員からは、「10年20年後の山口会を引っ張って行けるよう自らが積極的に行動することが大事」と述べられ、宮崎新会長からは、「その人その人に持ち味があり、自分には自分に出来ることを行い“チーム”として頑張っていきたい」と抱負を述べられました。

7年目をスタートした“チーム”山口青調会を、今後ともよろしくお願いいたします。

【山口青調会新役員】

会 長：宮崎敏幸（下関支部）

副 会 長：山根克彦(山口支部)、百合野崇(下関支部)

会計幹事：山田篤志（下関支部）

幹 事：平井隆雄(岩国支部)、大來博康(山口支部)、梶山 実（山口支部）

監 事：川口尚徳（周南支部）



山口青調会 勉強会・懇親会の報告

山口青調会 梶山 実

勉強会

テーマ：「アモーレ、愛の93条調査報告書」

～ここんとかどねー書くん？～

日 時：平成28年7月30日（土）

午後2時から午後5時

場 所：山口市湯田地域交流センター

2階なんでも学習室

参加人数：27名

懇親会

日 時：同日 午後6時から午後8時

場 所：セントコア山口(ビアガーデン)

参加人数：19名

5月に青調会の役員が新体制となり、初めての勉強会・懇親会が開催されました。勉強会は、新様式93条調査報告書をテーマとしたもので、出席率が正会員の8割を超え、皆さんの業務に対する熱意、テーマへの関心の高さを実感しました。

勉強会の始めには、新入会員の紹介（宇部支部：木下修治さん、宇部支部：長畑宏さん）がありました。

その後、株式会社ビービーシーの紺野信様による「2in1を利用した調査報告書作成」について解説をして頂きました。2in1は登記情報の閲覧やオンライン申請と連動して報告書を作成することができるというものでした。有料だけあって、日調連の報告書ソフトより便利機能が付加されているようでした。

次に4、5人の小グループに分かれ、事前に配布された例題について93条報告書の作成を行いました。

各グループに1台パソコンを持ち込み、報告書を仕上げるというやり方でした。少人数であったため、各人の発言する機会が多くあり、「ここんとかどねー書くん？」「それで補正になったことない？」など、ワイワイ、ガヤガヤと進んで行きました。時には例題から外れ、日頃の業務の話になり脱線したりしましたが、これもまた、他の人のやり方、意見を聞くことができ勉強になりました。2時間弱のグループセッションでしたが、あっという間に時間が過ぎました。私がいたグループは、私の旧型パソコンで、かつ私の不慣れな入力のため、時間内に報告書の内容を十分に



埋めきれませんでしたが、全ての項目について一通りグループ内で議論することができ、大変有意義な時間となりました。

勉強会の後には、セントコア山口のビアガーデンで懇親会が行われました。私を含め数名の方は、ここからエンジン全開になりました。この日の山口市は最高のビール日和で、18時のスタート時における会場はまるで真夏の「海の家」のようでした。乾杯後の一口目のビールのおいしさは言うまでもありません。

冷たい飲み物と、熱く（暑く？）ておいしい食べ物を囲み、わきあいあいと歓談することができました。

気分も最高となり、お腹も一杯となったところで2時間が経ちお開きとなりました。その後は、この日が「土用の丑の日」でしたので少グループで締めにはウナギを食べて帰りました。大変高級なウナギでしたので今年の夏は乗り切れそうです。



温泉客に見える会員
湯田温泉は いい湯だな～



懇親会場にあらわれた新種のポケモン（？）
二人捕まえると進化するのか？

親睦クラブの活動

『馬関まつり』に参加して

まつり同好会 阿部隆昌

8月20（土）、21（日）に下関市の海峡ゆめタワー周辺で開催された、第39回馬関まつりに、今年もまつり同好会として出店しました。馬関まつりは「平家踊総踊り大会」「関門よさこい大会」「ディズニースペシャルパレード」等、多数のイベントがあり、盛大に開催されました。『馬関』とは、下関市の古称である赤間関の「赤間」の「間」の字を「馬（ま）」の字にかえて「赤馬関」、それを略称して『馬関』となったそうです。



出店の様子

さて、まつり同好会の出店ですが、例年通り綿菓子と光るおもちゃを販売メニューとし営業しました。幸いに、同好会メンバーの日頃の行いが良いのでしょうか、両日とも天気にも恵まれました。それどころか、太陽がガラガラと照り付け、メンバーの体力を蝕み、熱中症発症一歩手前という天気でした。やはりメンバーの日頃の行いが良いのでしょうか。

私個人としては出店に初参加でありましたので、私も綿菓子作りにチャレンジしました。綿菓子の注文を受け、綿菓子機の前に腰を据え、割り箸に綿を巻きつける、綿を巻きつける、綿を……。なかなか綿が上手く割り箸に巻きつきません。どんなに頑張っても綿菓子が上手く作れないのです。私は注文した少年の心配そうな顔や綿菓子待ちの行列のプレッ

シャーに負け、綿菓子作りを断念。すぐに綿菓神（ワタガシン）と称される、宮崎先生と交代しました。二日目も懲りずに挑戦したのですが、やはりすぐに断念。もう一人の綿菓神である八田先生に交代するという醜態をさらけ出してしまいました。



玩具の修理中

光るおもちゃのほうは、光るはずのおもちゃが光らず悪戦苦闘。光るかの確認や修理をしつつの販売となり、出鼻をくじかれましたが、夜になると光るおもちゃに吸い寄せられた子供たちに売れに売れ、売り子である清水先生（あるものを飲むとすぐに上機嫌）と百合野先生（コーラ以外飲んだのを見たことはありません）が悪代官と越後屋に見えるほどでした。

今回、私は初めての参加でしたが、モノを売るということの大変さを痛感させられる二日間となりました。また、この二日間で同好会メンバーとより一層の親睦を深められたと思います。メンバーの皆様大変お疲れ様でした。



恒例の焼肉

会員の作るページ

私の気づいた「ゆがみ」

岩国支部 渋瀬清治

分間図2題、地籍図2題、電子化2題を取り上げてみます。

●＜分間図－1＞

江戸時代の街道筋にある田んぼを対象にして、間口寸法と奥行寸法を測ってみました。間口寸法が分間図とほぼ一致しましたので奥行寸法も同じかな！と思っていたところ、なんと現地の方が長いではないですか。

結果は間口方向は650分の1、奥行方向は700分の1で分間図が作成されていたと理解すると、ほぼ現地と一致することがわかりました（直角二方向が異比の分間図！！）。

そんな傾向があることを知らなければ、図上寸法や形状のズレは、分間図の作製精度の悪さや分間図の副図が作製された時の「ゆがみ」に問題があるのかなあ？で済まされるのかもしれませんがね。

●＜分間図－2＞

段々畑や棚田のような地形の場所での話。

検地では、畦畔を面積に入れていないという当時の資料がありますよね。

とすれば、段々畑の間にある法面部分は、当然面積にも作図にも反映されていないはず。

なのに、分間図の各筆の間にはスキマ無し。この疑問を受けて、分間図の1筆だけの形状を地形図の平たい田んぼの部分に重ねてみると、ほぼ一致しました。

このことは、段々畑のような地形の地区で1枚の分間図を、そのまま航空写真と重ねると谷方向が合わず、分間図の作製精度の悪さや和紙の伸び縮みなどの「ゆがみ」のせいなのかなあ？で済まされるのかもしれませんがね。

■＜地籍図－1＞

国土調査の地籍図が、アルミケント紙に複製されて、法務局に備え付けられていた頃。

図郭の四隅の4点と、図郭線と筆界線の交点を機械で読み取り、全て直線上に並んでいるかどうか調べてみました。

すると500分の1の地籍図で、直線から50cm離れている交点もありました。

ということは、1筆の土地が(1/2)(2/2)のように分属表示されていた地籍図時代の登記簿面積には、そうでない土地に比べ面積には大きめの誤差があり得ますよね。

今の電子化された地図では、こうした地籍図に内在し、登記面積にも影響を与えている問題点が隠されているため、地図を読取して求積した面積と登記簿面積の食い違いの原因が分からず、地籍図作製精度の悪さや副図の作成時の「ゆがみ」に原因があるのかなあ？と思いつつ現地に復元されて、公差の範囲内かどうかで処理されるのかもしれませんがね。

■＜地籍図－2＞

登記情報提供サービスで取得した地図上の図根点の数が通常予想されるよりも少ないことがあり、これでどうやって現地測量をしたのだろうかという疑問に思うことがあります。

昭和の20～30年代の地籍図には、図根点のプロットを5m間違えているものがありますが、その図根点の表示が消えている！！

通常は、現地に行く前に、市役所で地籍図根多角点の成果を入手し、プロット図を作成して地図と重ねてみて、プロットに起因する地図訂正の可能性の有無を必ず事前に調べてから現地調査に臨みます。

しかし、図根点の表示が抜け落ちてしまっている地図では、上記の事前点検が出来ないため、測量してみてもはじめて現地と合わない地図に悩まされることになります。

ですから法務局保存のマイラー地籍図でも構わないので、そのコピーを提供して欲しい訳です。

見た目では分からない地図の「ゆがみ」を1つでも事前に知ることが出来れば、無駄な時間を掛けずに、その影響の範囲の予測が出来ますよね。

★＜電子化－1＞

登記情報提供サービスで取得した地積測量図が、座標求積だった場合の話。

その座標値を使ってCADで図面を作成して重ねてみると、明らかなズレがありました。座標求積ならその座標値を使って、スキニングに原因があるか、印刷に原因があるかにかかわらず、図形の「ゆがみ」に気づくことが出来ます。

でも三斜求積の図面では、老眼プロット？ズサンプロット、作為的プロット、スキニング、印刷など原因となりそうなことが多すぎて、調査段階が？？？で一杯になります。

地図縮尺が500か1000分の1に対して250分の1で作製することを求められる地積測量図に、電子化以前にはなかったスキニングや印刷を原因とする「ゆがみ」まで加わるとなると、現在の＝図＝として提供される250分の1の縮尺の地積測量図は、その意義を再考する必要があるそうですね。

日々の仕事の場面では、紙をスキニングして電子化された地積測量図の場合には、法務局保存の紙の地積測量図をコピーして提供してほしいですね。

★＜電子化－2＞

コンピューターは、クズを入れればクズが出るという仕組みが基本のシステム。

現地測量はトータルステーション、測量計算はコンピュータ、図化もプリンターという現在よりも以前の取り組みは以下の通り。

「調査」＝①現地は地図作製当時のままで地滑りなどなかったかどうかを調べる、②地図・登記簿面積は、現地を反映しているかどうかを、地図読取求積したり、事務所保存の既存の地形図などと重ね合わせて現地に行く前に調べる。こうして「思い込み」を排除することに役立つ調査。

「測量」＝③道路上に散在する金属鈿のどれが基準点か図根点かを交角や点間距離を測量して慎重に点検する、④定期点検と（自己）検定をしたトータルステーションで測量する、⑤測量計算結果を現地に復元して現地との比較検証をする、⑥図化した成果図面と当初現地で地形などを測量した時に図化した図面との比較をする。こうして「公差制限を超えた誤差」が入り込まないように工夫する測量。

しかし昨今のコンピューターに頼り切った仕事の進め方では、違った目で点検をする人がいない一人事務所の場合は特に、間違はずがない！！という思い込みを排除しきれないまま、法務局に提出される地積測量図。

現地境界と筆界の食い違いを手続によって解消することも使命の一つである土地家屋調査士が、現地とは異なる形状や面積の図面や図面データを法務局に蓄積することになりかねない、現在のお手軽な調査測量環境は地積測量図に今までとは違った「ゆがみ」を与えることになるのかもしれない。

萩市の相島

萩支部 廣石 勝

萩港から13キロ、船で40分の所にある。萩市沖の島では比較的大きな島であり、79世帯・189人が生活している。定期の貨客船「つばき2」113トンが1日3往復している。

船着場から広い中央道路が1本、山上に向かって伸びている。台地は程々開けており、農地は段々畑となり、萩スイカと焼酎「あいしま」やスティックの原料であるサツマイモ、葉タバコを生産している。島の周囲は岩や海岸線が美しく、相島八景と呼ばれ、海釣りや

スキューバもできる。

小中校（小学生5人・中学生4人）の時計台は、平成3年に校舎を建て直した際、相島のシンボルに合う物としてシーボルトコギセル貝（巻貝）をレリーフに取り入れた。その他、大日如来堂や旅館もある。

この島のPR言葉は、`山口のスイカはここから育つ` だそうです。

う～ん、中々、よく考えているなあ～！



事務局だより

会員異動状況

1. 会員入会状況

	ふりがな 氏 名 (生年月日)	入 会 年月日	事 務 所	TEL
	ながはた ひろし 長畑 宏 (S42.1.2)	H28.8.1	〒755-0019 宇部市東新川1番1号	(0836) 33-6901

◆新入会員よりひとこと

長畑 宏 会員

この度、山口県土地家屋調査士会に入会させていただきました長畑 宏と申します。

平成26年試験合格を機にこの業界に飛び込み今回登録させていただくことになりました。

まだまだ経験が浅く、早く一人前になれるように精進していきたいと思っています。諸先輩方にお世話になることも多々あるかと思いますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2. 会員退会状況

支 部	氏 名	退会年月日	備 考
周 南	乗川 良介	H28.6.10	死亡
宇 部	阿部 英世	H28.8.31	廃業

訃 報



周南支部 乗川 良介 会員
昭和12年3月7日生(享年79才)
昭和38年9月10日入会
平成28年6月10日逝去

謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り致します。

3. 会員数

平成28年9月1日現在会員数

会員数 222 法人数 3

4. 事務所変更

支 部	氏 名	変 更 年月日	変 更 後		
			事務所	TEL	FAX
周 南	有馬 敏博	H28.7.1	〒745-0004 周南市毛利町二丁目3番地	0834- 34-4500	0834- 34-5053

5. TEL・FAX等変更

支 部	氏名	変更事項	変更後
下 関	時野 博道	FAX	083-766-0431

会務報告

開催日	会 務	場 所
5月7日(土)	中国ブロック協議会役員会議・監査会	鳥 取 市
5月10日(火)	周南支部総会	周 南 市
5月11日(水)	山口支部総会	山 口 市
	中山弁護士との協議	調 査 士 会 館
5月11・12日(水・木)	第1回境界問題相談センター認証取得準備会議	調 査 士 会 館
5月13日(金)	萩支部総会	萩 市
	宇部支部総会	宇 部 市
5月14日(土)	下関支部総会	下 関 市
5月17日(火)	岩国市との災害時支援協定打合せ	岩 国 市
5月21日(土)	第3回業務部会	調 査 士 会 館
	司法書士会定時総会	山 口 市
5月26日(木)	定時総会打合せ会	調 査 士 会 館
5月27日(金)	第69回定時総会	山 口 市
5月28日(土)	行政書士会定時総会	山 口 市
6月2日(木)	法務局との協議	法 務 局
6月2・3日(木・金)	第2回境界問題相談センター認証取得準備会議	調 査 士 会 館
6月6日(月)	士業ネットワーク理事会	周 南 市
6月14・15日(火・水)	第3回境界問題相談センター認証取得準備会議	調 査 士 会 館
6月20日(月)	公嘱協会第9回理事会	調 査 士 会 館
6月21・22日(火・水)	日調連第73回定時総会	東 京 都
6月24日(金)	社会保険労務士会通常総会	山 口 市
	第2回財務部会	調 査 士 会 館
	役員等手当検討委員会	調 査 士 会 館
6月28日(火)	第4回業務部会	調 査 士 会 館
7月1・2日(金・土)	中国ブロック協議会第59回定例総会	鳥 取 市
7月5日(火)	不動産公的管理センター準備委員会打合せ会	調 査 士 会 館
7月8日(金)	第1回山林地図検討委員会	調 査 士 会 館
7月13日(水)	第3回財務部会	(電 子 会 議)
7月15日(金)	山口法律関連士業ネットワーク定期大会	周 南 市
7月16日(土)	第5回業務部会	調 査 士 会 館
7月17日(日)	竹内重信先生黄綬褒章受章祝賀会	萩 市
7月19日(火)	会則第109条に基づく調査	調 査 士 会 館
	第1回総務部会	調 査 士 会 館
7月20日(水)	公嘱協会第1回理事会	調 査 士 会 館
7月23日(土)	第1回本部研修会	山 口 市
7月31日(日)	全国一斉「不動産表示登記無料相談会」	調 査 士 会 館
8月1日(月)	第1回不動産公的管理センター準備委員会	調 査 士 会 館
	第1回広報部会	調 査 士 会 館
8月2日(火)	土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査についての協議	山口地方法務局
	登録証交付式	調 査 士 会 館
	法務局との協議	山口地方法務局
	第2回常任理事会	調 査 士 会 館
8月5日(金)	中国ブロック協議会役員会議	岡 山 市
8月23日(火)	第1回境界問題相談センター運営委員会	調 査 士 会 館
8月25日(木)	第6回業務部会	調 査 士 会 館
8月26日(金)	第7回業務部会	調 査 士 会 館
	公嘱協会通常総会	山 口 市
8月31日(水)	岩国市との災害時支援協定締結調印式	岩 国 市
	本部研修会講師との打合	東 京 都

土地家屋調査士オリジナルウェア 助成実施中！！

鹿児島会が作製した、土地家屋調査士オリジナルウェアの購入に際し、現在、カタログ定価の2割を会で助成しております。

「土地家屋調査士」とスタイリッシュなロゴが入ったポロシャツや作業着は、立会の際など、土地家屋調査士であることが分かりやすいと好評です。

カタログ、注文書はホームページの会員のページにアップされています。事務局にもございますので、お気軽にお問い合わせください。

この機会にぜひお買い求めいただきますよう、ご案内いたします。



広報部より

編集後記

広報部を担当させていただき会報に携わるようになり一年が過ぎました。

出前授業を中心に広報活動を継続して行っておりますが、まだまだ広報活動が足りないように感じます。外部広報も大切と思いますが、内部広報も大事なのではないかと思います。

この会報を通じて会員の皆様にもっと土地家屋調査士に関心を持ってもらえたらと思います。この会報は広報部を中心に作成しておりますが、記事に関しては会員の皆様に協力をしてもらって作成されています。仲間の活動に少しでも興味を持って会報記事を読んで頂きたいと思います。

(広報担当副会長 清水)



山口県土地家屋調査士会

〒753-0042 山口県山口市惣太夫町2番2号
TEL083-922-5975 FAX083-925-8552
ホームページ<http://www.chousashi.net/>
Eメールyamaty@chousashi.net